

# 七ころび 八起き

第 16 号  
平成 27 年  
春号



医療法人達磨会 東加古川病院

Higashi Kakogawa Hospital

～未来地域に根ざした医療～

## 理 念

- 1) 精神医療に携わることに自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

## 作 品 紹 介

作業療法参加者の作品

上：ちぎり絵  
下：園芸  
～いちご～



## 「理事長就任の挨拶」

理事長・院長 森 隆志

先代森滋郎理事長が他界されました。平成 27 年 3 月 24 日、午前 7 時 37 分。享年 100 歳。昭和 14 年大阪帝国大学医学部卒業後、昭和 14 年 5 月より軍医として陸軍に入隊。その後、昭和 21 年 8 月より当院の院長に就任、病院の拡張・発展に努められ、昭和 40 年には理事長に就任されました。爾来 50 年当院以外でも、兵庫精神科病院協会、日本精神科病院協会など専門分野は勿論、県の業務、市の業務、養護学校嘱託医・企業嘱託医、看護学校講師、大学講師、そしてロータリークラブ、ボーイスカウト団長まで、実に幅の広い分野で精力的な活動をされておられました。やりたいこと、やるべきことをやりつくされ、後に思いは残っておられないのではないかと考えております。心残りがあるとなれば、東加古川病院の今後のことであろうと思います。平成 13 年に院長職を小生に委ねられ、「お前に任したのだから今後は一切お前のすることに口を挟まない」と言われたのですが、その後も時々、小生の暴走ぶりをみかねるのか「おい、大丈夫か?」「お前はきつすぎないか?」などと小突いてきておりました。その度に「大丈夫」と答え、心の中で「任すと言ったのに」と思いつつおりました。自分では、先代がいつどうなるろうとも、自分はやっていけるとおりました。しかし、実際こうなってしまうと、風が変わったような、妙に寂しい、妙に心細い思いが致します。小生は、先代理事長がいるということをどこかで心の頼りにしていたのだなど、今更にして気付いた次第です。

小生が後をうけて理事長に就任したわけですが、先代の遺志を受け継いで東加古川病院の拡張・発展に努めたいと強く思っています。皆様も何卒御協力をよろしくお願い致します。

## トピックス



## 訪問看護について

地域医療連携室 訪問看護師 清水 孝恵

平成 26 年 4 月に精神保健福祉法が改正され、精神障がい者の地域生活への移行を推進するため、退院支援・調整がますます重要になってきました。

退院し、地域での生活を目指す中で、患者様やご家族様がそれぞれ不安や問題を持ち、それらを抱えたまま退院することも少なくありません。そのような状況の中、病院から自宅での生活へと途切れることのない支援を行ううえで「訪問看護」は大切な役割があると思っています。入院中から病棟との連携を図った関わりが不可欠と考え、今年 1 月より 3 か月間、病棟看護師、デイケア、訪問看護で情報交換を行いました。訪問看護の案内ポスターやリーフレットの作成を行い、患者様やご家族様、病院スタッフへの宣伝を行ったりしています。

入院から訪問看護へのスムーズな移行ができるよう、今後は病棟でのカンファレンスへの参加や退院前訪問看護など積極的に関わっていきたくと考えています。



## アルコール勉強会 &amp; 断酒会

アルコールプログラムスタッフ 一同

アルコール勉強会は、毎週火曜日の午前に入院・外来患者様を対象として実施しています。最近では、参加される方が増えており 20 名以上の方が参加されています。講義は 10 回を 1 クールとし、医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、心理士が 2 回ずつ講義を行い、アルコール依存症についての知識を学ぶ場となります。また、院内断酒会も第 2・第 4 土曜日 15 時 30 分から行っています。毎回東播断酒会の方に来て頂き、個々の体験談を語ったり聞いたりしています。こちらも、参加される方が増えている傾向にあります。特に外来患者様の中には、“次の断酒会までは飲まないでよう”と語り、そして 2 週間

後に“また次の会まで飲まないでよう”と決意を新たに語られる方もいます。あるいは“みんなの顔を見に来た”と語る方もいます。院内勉強会においても、アルコールの知識を学ぶ場だけではなく、“断酒への支え”“他者とのつながりの場”となるように援助していきたくと考えています。



## 西 3 病棟 お花見

西 3 病棟 看護師 有馬 文世

この度西 3 病棟のレクで、初めて電車に乗りお弁当を持参して、明石公園でお花見をしました。各自 1,000 円の小遣いを持ち、自分で切符や好きなお菓子を買いました。桜の花の下で昼食を食べていると、ハトが飛んできたり、池では鯉やカモが泳いでおり、自然に触れ春を感じました。その後明石城を散策し、明石大橋を間近に見ることが出来ました。患者様からは、「弁当は美味しかったし、桜も満開でよかった」「また行きたい」などと大変喜ばれ、皆が協力し合い、楽しいひと時が過ごせました。





## こもれび心療クリニック



デイケア 小林 悦子

当デイケアは、こもれび心療クリニック内で行われる精神科デイケアです。

JR 加古川駅より南へ徒歩約 8 分、商店街を抜けてすぐに、こもれび心療クリニックはあります。少し歩けば河川敷や国宝のお寺もあり、このような場所に囲まれ、ときにはそれらの場所が活動の場になっています。

精神科デイケアは病気の回復の促進、再発の防止を目的にした外来治療の一つです。そのため、デイケアでは自分らしくある生活を送れるように、他の人と活動と一緒にしながら、その人の目標実現に向けたサポートに取り組んでいます。デイケアの活動として、ゆとりあるホッとくつろげる居場所、他の人との楽しいひと時、生活に必要なことを身につけることなどを中心にいろんな活動（お話し会・調理・栄養教室・スポーツ・散歩などなど）を取り入れて実施しています。

また行事では、お花見や社会見学といったデイケア外での活動、デイケア内では季節に合わせたイベントも行っています。これから暖かくなり、身体を動かしやすい季節となります。元気に活動を行いながら、健康になるサポートをこれからも努めていきたいと思えます。



## 医局コラム vol.15



### 「クレーム対応について」



医師 南 和樹

新年度もはじまり、私が東加古川病院に就職させていただき、もう 1 年が過ぎました。日々学ぶことばかりで、あっという間の 1 年でありました。まだまだ未熟者でご迷惑をおかけしておりますが、今後とも御指導御鞭撻の程宜しくお願い致します。

さて、この度のコラムですが、クレーム対応についてお話させていただこうと思います。近年医療の現場でもクレームに遭遇することは珍しくなくなってきました。サービス業ではクレームに遭遇した場合、「相手の心情を理解してクレームをよく聴き、不快な思いをさせたことに対してまずお詫びする」、「何が問題になっているか事実を確認する」、「問題の代替案などの解決策を提示する」、「クレームへのお詫びと感謝をし、クレームは組織で共有し、次の活動に活かす」を基本的な手順として対応されているところもあるそうです。また、注意点として「解決策を早めに提示してしまいがちだが、心情理解のステップを抜かすと相手の気持ちが収まらず、クレームが大きくなってしまふ恐れがある」とあり、思い当たる節があり、ドキッとしました。医療はサービス業というわけではありませんが、参考にできる部分もあるかと思えます。こうしたテクニックも用いながら、患者様やその家族様とより良い関係を築くことがクレーム対応だけでなく、二人三脚の医療の実現に結びついていくのではないかと思います。





# 取 り 組 み



## ☆災害時食事相互支援☆

給食管理課 和田 幸枝

加古川・高砂・加古郡給食施設において、災害時の相互支援体制を整備する事業を実施しています。今回は当院水害による厨房使用困難想定で平成26年11月17日、給食相互支援要請 FAX 送信→物資支援数の確保、翌日18日14時から支援物資運搬訓練を実施し、相互支援グループ内近隣6病院・施設で約500食分の支援数が確保できました。各病院・施設出発→当院へ到着、物資運搬で必要時間は1時間弱程で、グループ内が近距離で、支援しやすい立地状況であることを再確認しました。必要備蓄品はα化米、レトルト粥、レトルト親子丼、ゼリー類、味噌汁等です。病院・施設でキザミ・ミキサー食数が増加傾向にあるゆえ、備蓄食品に内容形態を検討する必要があるとの意見も多かったです。



## \* 外来変更のお知らせ \*

平成27年4月1日より外来診察医師の変更がありますので、下記にてご確認ください。  
\*受付時間は月曜日から土曜日の8時30分～11時30分です。



## 外来診察のご案内

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森院長	木村	森院長	森院長	高内	森院長
	前田	菊川	高内	伊敷	木村	
	谷川	津田	谷川	前田		菊川
午後			南	津田	大西	大西
				堀野 (思春期外来)		

広報誌 (PDF) はホームページからも閲覧・印刷可能です。



## 編集後記

春があっという間に過ぎ去り、初夏らしさを感じる気候になりました。一日の寒暖差が激しく、体調も崩しやすい時期です。本格的な夏を前に、みなさん体調にはお気を付け下さい。 広報担当

## 医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197 - 3  
TEL : 079 - 424 - 2983 (代表)  
FAX : 079 - 424 - 2985  
HP : <http://www.tatsumakai.jp/>

当院では2004年にISO9001を取得しています



- ①公共交通機関でのご来院  
JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- ②お車でのご来院  
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)